

助け合い 広がる つながる 赤い羽根

赤い羽根 共同募金

令和7年度



手塚治虫作『ユニコ』

1976年から連載開始。伝説の一角獣の子どもユニコが、時空を超えて旅をするファンタジー物語。

ユニコといっしょに やさしさを届けよう

宝塚市で

赤い羽根共同募金×手塚治虫作「ユニコ」がコラボ！

助けあい・思いやりの意味が込められた『赤い羽根共同募金』と、助けてくれた人々を幸せにする、不思議な力を出せる『ユニコ』が、安心して暮らせるまちづくりに向けて、力を合わせるようになりました。

ユニコといっしょに、やさしさの輪を広げましょう！

赤い羽根共同募金月間

10/1 水 ~ 11/30 日

ユニコ×赤い羽根オリジナルバッジ



1,000円以上募金された方で希望者にお渡します。
(市総合福祉センターにて)

宝塚市共同募金委員会

(宝塚市社会福祉協議会内)

〒665-0825 宝塚市安倉西2丁目1-1

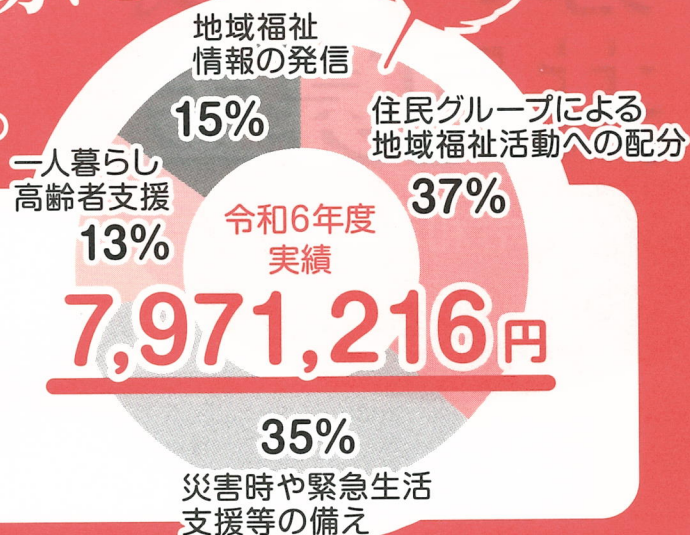
TEL:0797-86-5000 FAX:0797-86-5069 MAIL:shakyo@nifty.com



ご協力いただいた募金は、 さまざまな福祉活動に 活用されています。

広がる「ありがとう」の輪

令和6年度も、たくさんのご協力をありがとうございました。
募金は、「地域のつながりづくり」を目指す市内の地域福祉活動等に活用されています。募金の配分は、住民代表で構成した宝塚市共同募金委員会で話し合い、決めています。

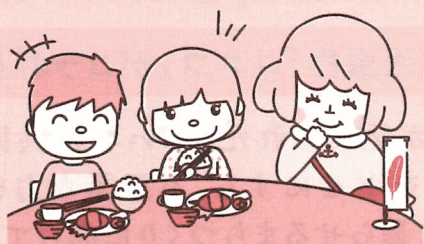


募金を活用し、地域をもっとよくする福祉活動

活用例1

地域みんなの食堂

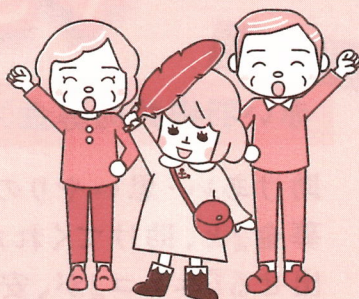
子どもから高齢者まで、誰でも気軽に参加できる『地域食堂』が、地域の交流の場として各地で広がっています。



活用例2

自分らしく暮らし続けるために

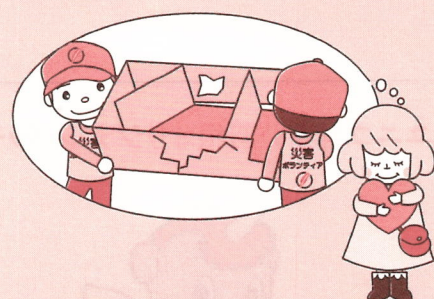
ふれあいいきいきサロンや子育て支援団体への助成を通じて、地域の居場所づくりを進めています。



活用例3

災害への備え

地震などの被災地支援にも役立てられているほか、災害時の備えとしても共同募金が活用されています。



募金を活用した福祉活動について、詳しくは [宝塚共同募金](#) で検索

募金のご協力方法

- 総合福祉センターや社協各拠点へのご持参、または自治会・団体を通じたご協力
- 市内の公共施設等に設置されている募金箱や街頭募金でのご協力
- インターネットからの募金 (PayPay・クレジットカード等をご利用いただけます)

※今年度より、PayPayによるオフライン決済での募金も可能となりました。



ネット募金は
こちら

宝塚市共同募金委員会

(宝塚市社会福祉協議会内)

〒665-0825 宝塚市安倉西2丁目1-1

TEL: 0797-86-5000 FAX: 0797-86-5069 MAIL: shakyo@nifty.com